

総評

国語と理科が易しめで、数学と社会は難しめでした。社会や理科では小学校の学習内容を忘れていた人もいますが、中学校の学習は、小学校の学習内容をよりくわしく調べたり深めたりする学習が中心で、これまで学習した内容はとても大切です。小学の教科書はしばらく手もとに置いておき、疑問点はすぐに調べるようにしましょう。

道コンのようなテストは、現在のみなさんの実力を測る道具であると同時に、自分の弱点に気づき、こくふくするよい機会でもあります。結果をぼんやりとながめるだけでは、せっかく受けたテストがむだになってしまいます。まちがえた問題を見直し、解き直して初めて、実力アップにつながり、テストを受けた価値があります。

国語

やや易しい出題でした。

㊦は、「画策」の読みを答える問いの得点率が最も低くなりました。「がさく」「がくさく」などのように「画」の読みを正しく書けていない答案が目立ちました。問四の修飾語の問いの得点率も低くなりました。小学校で習った文法を復習しておきましょう。問五の実用文はよくできています。(2)は「先生に」とのつながりに注意しましょう。㊦の小説は読みやすく、全体によくできています。㊦は、問四の②が難しかったようです。空欄に当てはまる表現を答えるときは、その前後との接続にも注意しましょう。

記述問題では、問題文をよく読み、文末の形（「～こと」「～から」など）や必要な要件を見きわめて、過不足なくまとめましょう。

数学

たいへん難しい出題でした。

①は、必ず身につけたい基本的な問題です。小数と分数の混じった計算や、割合の求め方など、忘れていたことがあれば、この機会に必ず復習しましょう。②～④は、割合や比例する量、変わり方、データの利用など、小学校の学習内容のうち、中学校1年生の学習に直接つながる内容を出題しました。易しい内容ではありませんが、中学校1年生の学習をスムーズに進めるため、解説を読んでもう一度ちょうせんしてみましょ。

⑤と⑥は応用的な問題を中心に出了ました。応用問題で重要なのは問題の見方や考え方です。解説の解き方や考え方が自分の考えと違っていた場合は、解説をよく読んで、考え方のバリエーションを増やしていきましょう。

社会

難しめの出題でした。5年生、6年生の内容が中心でしたが、忘れてしまっていることも多かったかもしれません。間違えてしまったところは復習して、中学での良いスタートを切ってください。

地理分野では、②問4の記述問題が難しかったようです。日本海側の都市の気候のグラフを選んだ理由として、「冬の降水量が多い」ということが読み取れない解答が目立ちました。

歴史分野では、④問6の年代並べかえ問題が難しかったようです。歴史は、できごとの内容を理解することも大切ですが、歴史の流れをおさえることも大切ですので、教科書の年表などを利用して、流れを確認しながら学習していきましょう。

理科

非常に易しい出題でした。

①問2は基本的な内容でしたが、得点率はあまりのびませんでした。③問2は易しい問題ではありませんが、よくできていました。⑥問4は、細かい知識が問われたこともあり、今回の出題で最も得点率が低くなりました。また、④問2、⑧問3などの記述問題では、理解できているものの、書き方が不十分なものが目立ちました。文章記述では、問われたことに正確に答えることを意識するとともに、自分の答案を見直して、正しく書いているか確認するようにしましょう。

小学校での学習内容は、今後学習することのきそとなっているものが多くありますので、今回間違えたところや、自信のなかったところは、もう一度教科書などをよく読んでしっかりと復習しておきましょう。

